

# 「農村大学校」を設立

## 富岡・甘楽

### 2市町の農家60人の研修受け入れ促進

農業研修の受け入れに取り組み富岡市と甘楽町の農家が、「甘楽富岡農村大学校」を設立した。地域の農家の連携による研修の受け皿として、国際協力機構（JICA）の内外研修員や学生らの受け入れを促進し、地域農業の振興を図る。

南牧両町村の農家にも参加を働き掛けるとい  
う。  
同地域では、高崎市内のNPO法人がコーディネートとなり、二〇〇二年に受け入れ事業がスタート。研修半年間の野菜隊員候補生、三週間の村落開発

会員は両市町の農家外研修生に加え、都内から約六十人で、受け入れ農家や協力者らを組織化し、研修を円滑に進めるのが狙い。本年度はJICA青年海外協力隊の野菜隊員候補生と村落開発普及員、中米カリブコースの海

立総会で、三十歳代の若手農家主体の役員を  
選出。校長に就いたJ  
A甘楽富岡・前青年組  
織協議会長の白石義行



抱負を語る校長の白石さん（左端）ら役員

普及員の日本人隊員だし、外国人研修員らも  
けて百二十人が研修学んでいる。